

## 日本災害看護学会 令和6年能登半島地震活動報告

活動隊員：花房 八智代 寺田英子・紫 宇代

1. 活動日時 2024年1月28日（(日)） 24時間体制（交代制で勤務制）
2. 活動場所  
珠洲市立 大谷小中学校（石川県珠洲市大谷町1字78番地）  
避難所使用者数46人：自宅避難29世帯74人
3. 被害状況（内閣府：1月26日9:00現在）  
人的被害：石川県死者236人、行方不明19人
4. 天候：曇天 最高気温6℃ 最低気温1℃
5. 活動の実際 本日、花房15時out→紫13時in
  - 5:00 ～見守り
  - 7:00 ホットタオル配布・健康観察：受診者リストアップ
  - 8:00 珠洲市保健医療福祉調整本部 zoom meeting
  - 8:30 大谷小中学校本部関係者 meeting（シャワーの設置説明）
  - 8:30 シップ交換実施
  - 9:15 熱傷処置
  - 9:30 行政より住民へ：2次避難の日程変更について説明（ホテルの水道管の不備にて）
  - 10:30 清拭・陰洗・おむつ交換・シップ交換
  - 11:00 体育館の換気・マスク交換・体操・看護師 meeting
  - 11:30 花房氏の交代要員：紫・大谷小中学校避難所到着  
避難所リーダーに挨拶（本部長 不在）  
千葉県職員・物資担者・給食担当者にご挨拶
  - 12:00 寺田氏よりオリエンテーション
  - 13:00 昼食（花房氏・寺田氏・紫）
  - 13:30 新たな入所者の布団の準備・県職員と協働
  - 13:50 個人の所持品探し（長靴）→発見
  - 14:30 右下肢蜂窩織炎者の洗浄処置、足浴
  - 15:00 調整連絡・花房氏 out
  - 16:00 ラウンドしながら傾聴
  - 17:00 珠洲市保健医療福祉調整本部 zoom meeting（要望あり）
  - 18:00 夕食 配膳
  - 19:00 大谷小中学校本部関係者 meeting（本部長含む）
  - 19:45 看護師ラウンド：挨拶と傾聴・健康観察・個室の巡回
  - 20:30 下肢の浮腫・ケア（援助）（DVTのスクリーニング伝達済）
  - 21:00 個室ラウンド→傾聴・就寝されていた為にオムツ交換保留

21:00 消灯

22:00 報告書記載

23:00 看護師巡回

## 考察

### 【避難全体について】

発災からほぼ一か月を迎えようとしている。2次避難や他県への移動が見られ、避難者数の減少が見られる。避難所自体は避難者の程よい距離感が保たれている印象がある。体育館全体を見渡せる状況であり、コミュニケーションも良好である。寒波により気温が低い、暖房器具の確保や布団も充足していることから寒さを訴える避難者はいない。しかしながら、避難者の内高齢者の割合は高く日中の体動も少ないことから体操など実施しているが、天気の良い時などは外気浴など、気分転換を促す工夫が必要であると考え。環境的には明るく、穏やかな時間が流れており、食事は手造りが提供され、持ち寄りの野菜などを使用し、栄養面も考慮されている。加えて、本部長をはじめ、行政やボランティア・消防・物資・看護師などの役割分担がされ、それぞれの情報共有が適切に行われていると感じる。

今後は、運動もかねて食堂などに移動し、住民同士が集まって会話を楽しみながら摂取していく事も考慮していく。

本日は2次避難の延長があったが、大きなトラブルもなく受容されている様子であった。2次避難に対してはそれぞれの思いがあるが、一人ひとりの思いに寄り添った意思決定支援が重要である。

支援者側の考えとして、避難者数が半減すると飲食ができる交流スペースの設置や土足区分の変更、整容のためのプライベートスペースなど館内全体のレイアウトを行う予定であった。

近隣住宅より安否不明者が1名発見されDNA鑑定待ちとのこと。

### 【健康面について】

引き続き、下肢腫脹の避難者2名。継続的な観察とケアが必要である。月末にPWJ診察待ち(31日の水曜日)。また、口腔ケアについて個別のニーズは上がってはいないものの、洗面所での水が使用できない為、セルフケアの面の確認と並行して口内環境の観察も必要であると考えられることから歯科巡回チームの介入を本部に要望する。看護サイドからも確認していく必要がある。呼吸器及び消化器系の感染症の流行の兆しは特にないが、夜間、せき込む避難者あり。マスクの交換・着用手洗いの遂行を実施していく。該当者については健康観察を継続し、受診など検討する。また、トイレは清潔な環境の維持に努め、行政とともに協働し、定期的な清掃を実施していく。

### 【団らん・キッズスペースについて】

前任者より検討されているものの、避難者の減少により状況に応じて考えていく予定。このところ相撲観戦者が多く、テレビ前に集まる方も多く、避難所本部長と検討していく。

**【学校再開について】**

平日は児童が登校してくることも踏まえ、物品などの積み上げは余震も留意し、できるだけ廊下にはおかないように検討が必要か。

以上